



## ～ 国際理解講座・写真展を開催しました ～

赤穂市国際交流協会では、8月26日から28日にかけて、市立図書館において、海外ボランティアの異文化体験をテーマに、写真展や講演会を行いました。

講演会では、国際協力機構（JICA）の海外ボランティアとして活動された2名を講師に迎え、現地での支援活動や交流についてご講演をいただきました。

写真展では、JICAの海外ボランティアが現地で撮影した写真の展示を行い、なかなか訪れることができない、外国の様子を伺い知ることができました。開催期間中に、延べ150名の参加があり、JICAの支援活動について学ぶことができました。

### 国際理解講座講演会

最初に JICA 関西国際センターの中村彩乃さんにより、JICA の目的と組織および事業内容、開発途上国の健康で文化的な生活のため、人材育成・能力開発、社会・経済インフラ整備など日本が行っている国際協力活動と海外ボランティア制度について、ご説明いただきました。

中村さんからは、応募から赴任国への派遣までの国内研修、そして帰国後の就職等のサポートもしっかりとしているので、是非とも、前向きに参加を検討してほしいと話されました。

その後、青年海外協力隊出身の坂口友利子氏が「あゆぼーわん！スリランカ体験談」の講演、シニア海外ボランティア出身の池上智恵子氏が「コスタリカの異文化体験」の講演を、それぞれ1時間ずつ行っていただきました。

○あゆぼーわん！スリランカ体験談（青年海外協力隊OG 坂口友利子氏）





冒頭、坂口さんがご自身の胸元で手を合掌し、「あゆぼーわん！」と笑顔であいさつされました。坂口さんによると、スリランカでは、「あゆぼーわん」という言葉を覚えると、どんな場面でも、使える便利な言葉だそうです。言葉の意味は、日本語でいうところの「おはよう、こんにちは、こんばんは、ありがとう」などあらゆるあいさつ、そして感謝の意味があるそうです。

続いて、坂口さんからは、スリランカの首都名はわかる方はいますかと問いかけがあり、会場の中には、「コロンボ」と答え方もいらっしゃいましたが、正解は、「スリジャヤワルダナプラコッテ」でした。正解された方もおり、その博識に驚きました。スリランカでは、政府軍（シンハリ人）と反政府ゲリラ（タミル人）との長年に渡る抗争が続いておりました。坂口さんは、タミル人の貧困村にある保育所を巡回して保育を実践して見せながらスキルアップに努め、一方保育所の先生対象のワークショップを開催して保育技術の向上に努めた活動について、分かりやすく説明してくださいました。現地では、シンハリ人もタミル人も同じ人間に見えるのですが、互いに深く関わらないといった潜在意識が感じられたことと、そして、タミル人の家庭は、就労できないことが多く、働き盛りの女性が、同じイスラム圏である中東の産油国等へ家政婦として、出稼ぎに行って留守にしているケースが多いそうです。JICAの活動を通じて、スリランカの子どもの健やかな成長の一助となれたと思うと話を結ばれました。



#### ○コスタリカの異文化体験（元シニア海外ボランティア 池上智恵子氏）



池上さんが、JICAの海外シニアボランティアの活動に興味を持たれた契機は、ご主人に先立たれたことでした。長年連れ添った最愛のご主人を亡くし、悲しみに打ちひしがれ、気力が失せてしまっていた最中、街角でJICAの海外シニアボランティアのパンフレットを手にしたそうです。自分にも、何か世の中のために役に立てることができるのではないか、いつまでも、顔が下にむいたままだと、夫も浮かばれないと思った

池上さんは、海外シニアボランティアにご応募されたそうです。

コスタリカの国立ナショナル大学で行った日本語教育と、日本文化を紹介して異文化理解を深めるように指導した状況を話されました。温厚で勤勉、信仰心が厚く、家庭と家族を大切に、自然と共に生きて幸福度の高いコスタリカ人気質について語っていただきました。池上さんにとって、海外シニアボランティアは、快活に生きる気力を取り戻す契機となったそうです。



### 写真展

写真展では、三日間で150名を超える方が写真展を観ていただきました。シニア海外ボランティアの写真を68枚、坂口氏のスリランカの写真2枚も展示いたしました。観覧者の中には、海外ボランティアに挑戦してみたいと言われる人が数人いたので、JICAのPR資料をお渡しして、簡単な補足説明を行い、是非とも応募されるようにお勧めいたしました。



## 日本語教室で学習中！生徒も増えています♪



赤穂市国際交流協会では、ボランティアの日本語指導先生のご協力のもと、月2回、日本語教室開催しております。8月以降新たに市内学校で英語指導助手に赴任された方、企業で勤務されている方が来られ、多くの生徒さんが日本語教室で学んでおられます。また新たに日本語を教えてくださいと先生にも来ていただきました。教室では、それぞれの日本語習熟度に応じて、先生と机を並べて熱心に学習されております。うれしい悲鳴ですが、日本語をご指導してくださる先生が不足しておりますので、ご協力いただける方、ご知り合いの方がおられれば是非、協会までお声掛けをお願いいたします。



## 協会からのお知らせ 日本語教室



□ 開催日：毎月 第2・第4 火曜日（原則）

□ 時 間：19時～20時30分

□ 場 所：赤穂市役所2階204会議室

※会場は変更になる場合があります

月	開催日	3月	14・28
1月	10・24	4月	11・25
2月	14・28	5月	9・23

## 料理教室の開催について

例年、各国の料理教室を開催しておりますが、今年度は市民会館の耐震改修工事等もあり開催が遅れておりました。今年度は、赤穂にゆかりのある「塩」をテーマに料理教室を3月に開催するべく準備を進めております。詳細が決まりましたら、チラシ等でお知らせいたしますので、ご参加のほどよろしくお願ひします。

## 赤穂市・ロッキンガム市姉妹都市提携20周年に向けて



赤穂市とロッキンガム市は、平成9年に姉妹都市提携をしました。平成29年は、提携20周年となることから、協会では、現在、両市の更なる友好を深める目的で20周年記念事業を検討しています。この20年間、互いに訪問団、児童合唱団など様々な方が交流を深めてまいりました。両市の友好が今後も発展することを願っています。

○長い首都名 夏の国際理解講座で、スリランカの首都名スリジャヤワルダナプラコッテが長いと思っておりましたら、世界一長い首都名がありました。タイの首都は、バンコクと普段呼んでいますが、正式名称は次のとおりだそうです。覚えるのも大変ですね。

「クルンテープ・マハナコーン・アモーンラッタナコーシン・マヒンタラアユッタヤー・マハーディロックポップ・ノッパラット・ラーチャタニーブリーロム・ウドムラーチャニウェートマハーサターン・アモーンピーマン・アワターンサティット・サッカタットティヤウィサヌカムプラシット」

### ボランティア/会員募集

協会の企画運営・会報作成等のお手伝いをしていただける方を募集しています。事務局まで連絡下さい。

併せて、協会会員も随時募集中です。

【年会費】 個人会員 1 □ 1,000 円  
法人・団体会員 1 □ 10,000 円

### ★ VOLUNTEERS WANTED ★

- ・ AIFA Planning/Operating volunteers
- ・ AIFA Newsletter Editing volunteer

### ★ SPONCOR MEMBERS WANTED ★

【Annual membership fee】

- ・ Private : ¥1,000
- ・ Party/Corporation : ¥10,000

赤穂市国際交流協会（事務局：市役所市民部市民対話課内） **AKO INTERNATIONAL FRIENDSHIP ASSOCIATION =AIFA=**  
〒678-0292 赤穂市加里屋 81 番地 (located at the Citizen Dialogue Department in City Hall)  
Tel(0791)43-6818 Fax(0791)43-6810 1<sup>st</sup> floor, 81 Kariya, Ako, Hyogo 678-0292, Japan

E-mail [taiwa@city.ako.lg.jp](mailto:taiwa@city.ako.lg.jp) <http://www.city.ako.lg.jp/shimin/machizukuri/kokusaikouryu.html>